



●例会日 毎週水曜日 PM12:30～1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111
●事務局 木更津市朝日1丁目2-29 シグママンション朝日B棟105号 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2022-23年度国際ロータリーテーマ イマジン ロータリー IMAGINE ROTARY

第42回例会 NO. 2606

2023年5月31日(水)

【謎解き問題】

以下の図のように数字が並んでいる場合、
「？」の位置に入る数字は何でしょう。

1 1 1
2 2 2
3 3 3 3 3
4 4 4 4
5 5 5 5
?

※答えと解説は週報の最後で！

■司会進行

山田修平会員

◆四つのテスト

有島敏夫会員



◆点鐘 12時30分

大里光夫会長

◆Rソング斉唱

「それこそロータリー」



◆出席 会員45名 ◆出席率 78.94%
出席30名 ◆修正前出席率 72.09%
欠席15名 ◆修正後出席率 83.72%

◆メイクアップ【敬称略】
・ 5/30 第4回インターアクト合同会議
倉島和広・叶川博章

◆欠席者【敬称略】

金見由紀子・叶川博章・嶋津正和・四宮安彦・鈴木隆昌・鈴木秀幸・竹川佳孝・中野麻美
林田謙志・宗像一教・渡邊慎司

ホームページ <https://kisarazueast-rc.jp>

木更津東ロータリークラブ
会長 大里光夫
幹事 石田亨
編集 板谷優作

国際ロータリー第2790地区
RI会長 ジェニファー・ジョーンズ
地区ガバナー 小倉純夫
ガバナー補佐 梶暉芳

◆ゲスト・来訪ロータリアン紹介

大里光夫会長
第5グループガバナー補佐 梶暉芳様



来月末で退任となります。1年間皆さまのご協力に感謝申し上げます。

◆誕生日祝い 藤野宏治会員(5/28)

◆私の記念日祝い

渡部和夫会員(5/25)

林孝二郎会員(5/30)



◆会長挨拶 大里光夫会長



皆さんこんにちは。

本日は第5グループ 梶ガバナー補佐におかれましてはご来訪いただき有難うございます。先の当クラブの55周年に際しましてはご多忙のところご臨席賜り重ねて御礼申し上げます。1年間、各クラブを廻り志向を凝らしたグループ運営には時間とお気遣いが有られたと思います。本当にお疲れさまでした。

日曜日から昨日まで技能実習生の面接でフィリピンに足を運んでおりました。雇用の継続のことも有り、年に一度程度はフィリピンを訪れます。行くたびに道路などのインフラが整備されて街並みも変化していることに気付かされます。諸外国からのODA(政府開発援助)も有りますが、日本からの円借款で道路や電車が開発されていることも多い様でした。年利1%で40年返済などの内容が現地の新聞には書かれておりました。電車の一例を取りますと導入電車メーカーは入札で日本企業が落札し長い期間をかけて建設竣工されたようです。しかしその後のメンテナンスに関して他国の事業者が落札した結果、故障が頻発し速度制限が時速25kmと適正時間で移動が出来なく、鉄道事故も頻発していたようでした。今回日本企業にメンテナンス管理が移管され、その費用も円借款にて対応する様で、非常に評価も高く時速60km程度で時間も正確に運行できている様でした。

現地の送り出し機関の取締役と夕食を共にしている際、ロータリークラブの国際奉仕活動について話しました。現地で資金援助いただきたい分野は多数あるようです。貧富の差がとても激しいため、水・教育など多方面で要望は有るのではないかと

の事でした。しかしながら、建物や機器などのアフターメンテナンスは日本人が考えているレベルではない為、継続的に援助の経過を見るときはその部分も理解が必要なことは話しておりました。いづれにしても、次回機会が有りましたらマニラのロータリークラブにメイキャップに伺いたいと思います。

本日は当クラブの国際奉仕プロジェクトの経験を林会員より頂戴出来ると思います。よろしくお願い致します。

会長挨拶は以上となります。

◆幹事報告

石田亨幹事



1. 幹事報告

特になし

2. 他クラブからのお知らせ

- 1) 我孫子 RC より「例会場変更」のお知らせが届いておりますので回覧いたします。
- 2) 木更津 RC より「例会変更のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。
- 3) 上総 RC・君津 RC より「週報」が届いておりますので回覧いたします。

3. その他のお知らせ

- 1) かずさ市民応援団より「会員証等の送付について」が届いておりますので回覧いたします。

4. 回覧

- ・我孫子 RC より「例会場変更」のお知らせ
- ・木更津 RC より「例会変更のお知らせ」
- ・上総 RC・君津 RC より「週報」
- ・かずさ市民応援団より「会員証等の送付について」

◆ニコニコボックス報告

出席報告 親睦出席委員会 大岩もえ委員長



◇小林裕治会員

2月にあった「かものはしプロジェクト」の卓話、当日 zoom で拝見いたしました。個人的に思うことがあり、3月から少額ですが毎月寄付しています。加藤会員、ご紹介くださりありがとうございます。皆様も世界と日本の子供達の為に少額からいかがですか？

◇渡部和夫会員

結婚して 50 年よく別れずに過ごしてきたと思います。もう少しロータリーを続けたいと思います。

◇大里光夫会長

梶ガバナー補佐、ご来訪感謝いたします。1年間お疲れ様でした。

◇林孝二郎会員

素晴らしい花束ありがとうございました。金婚も2年前に終わり、次はダイヤモンド婚目指して頑張ります。今日の卓話もよろしくお願い致します。

◇梶暉芳ガバナー補佐

一年間、皆様のご協力に感謝申し上げます。

◆出席報告

大岩もえ委員長

■例会アワー

国際奉仕ロータリー財団委員会
林孝二郎委員長

◇会員卓話



「ヤギ銀行プロジェクトに学ぶ」

1. プロジェクトの始まり

「未来の夢計画ヤギ銀行プロジェクト」は木更津市在住の写真家、潮田展子さんの例会卓話から始まった。

- ・ 2008年12月10日例会
「時間がゆっくり流れる村ネパール・ダンプス」
例会で集めた寄付金を潮田様に贈呈。
- ・ 2009年4月潮田氏、ダンプス村訪問
4つの小学校とフェディの部落に寄付。

I. ヤギ基金設立

2010年国際奉仕委員会国際奉仕プログラム立ち上げ決定。「ヤギを送ることにより、貧困家庭の生活改善を図り児童の修学機会を促進させる」

- ・ 2011年1月会員寄付により「ヤギ基金」を創設
- ・ 同年9月日本在住のネパール人ジャガン氏例会
来訪ヤギ基金より5万円を預託し、現地4家庭に
各2頭ずつ8頭のヤギを贈る。贈呈式は現地新聞に
掲載される。

II. 木更津東 RC 調査団現地へ

2011年12月内田稔会長藤野国際奉仕委員長
綱島、有島、横田、大澤、大隅会員の7名

- ・ プロジェクトへの地元住民の期待が大きいことを
確認。
- ・ 地元のポカラロータリークラブに参加を要請し、
快諾を得る。
- ・ 事業永続のため、ヤギ牧場を作り繁殖させたヤ
ギを貸し与えるという銀行形式の計画に発展させ
ることに、ポカラ RC やダンプス村の人々の賛同
を得る。

2. 国際ロータリーグローバル補助金の活用

2012年6月ヤギ銀行プロジェクトが「未来の夢計画」グローバル補助金の対象事業となるよう検討を開始する。

・ 事業の仕組み

- ① ダンプス村に農場を借り、ヤギを繁殖させながらつがいのヤギを貧困家庭に貸し出す(ヤギ銀行)。
- ② 3年以内に繁殖したつがいのヤギ(元金)を銀行に「返済」する。
- ③ この間に各家庭では、10数頭に増えたヤギの乳を搾ることで生活は安定し、出稼ぎに出ている子供たちを呼び戻し、村の小学校に通学させることが可能になる。

I. 資金計画

提唱側負担分 17400ドル

- ① 木更津東 RC3000ドル賛同 RC200ドル
合計 3200ドル(現金)
- ② 地域グローバル補助金
2970 地区(DDF)14000ドル
ネパール地区(DDF)200ドル
合計 14200ドル(DDF)
- ③ ロータリー財団補助金 15800ドル
現金対応補助金 3200ドルの2分の11600ドル
DDF 対応補助金 14200ドルと同額 14200ドル
総合計 33200ドル(当時の為替で約 2,656,000 円
80 円/ドル)

II. グローバル補助金採択にあたり解決すべき課題

「持続可能であること」および「支援を受ける側の自助努力によって推進されること」の2条件を達成するために、以下の課題が指摘された。

- ① ネパール側に信頼できるホストパートナークラブを見つけること
- ② ホストパートナークラブおよびそのクラブが存在する地区とプログラムについて情報交流すること
- ③ ヤギ銀行経営に向けての障害排除
 - * 経営の透明性確保
 - * 牧場用地の貸借
 - * 貸付ヤギの子孫返却システム
 - * 疫病対策等

④ 継続的現地視察と指導等

III. グローバル補助金採択へ

・ 2012年9月～2013年1月

木更津 RC 作成のプロポーザル素案をたたき台にしてポカラ RC、NPO ダンプス・フレンドシップ協議会と協議する。

・ 2013年6月 MOU の締結

グローバル補助金の正式採択通知を受領し、プロジェクトがスタートする。木更津東 RC 会員6名により現地調査、打ち合わせを実施。

3. プロジェクト開始

- ・ 住民説明会の開催
- ・ 3日間のヤギ飼育トレーニングの実施
- ・ ヤギ牧場用地および建物の借用決定
- ・ 建物の改修およびヤギ飼育地、フェンスの整備

ヤギ牧場風景



ヤギ飼育のための3日間トレーニングの様子



ヤギ銀行開所式 2014年12月ヤギ牧場開所式にて内田重会長以下、当 RC 会員8名参加。開所式にて貧困家庭にヤギの貸付実施。



開所式全景



内田会長よりヤギの貸与



I. ポカラ RC で内紛が起こる

2015年ポカラ RC グローバルプロジェクト担当の会員ジャガン氏(NPO ダンプスフレンドシップ協議会のジャガン理事長とは別人)が、クラブより除名され、それを不服としたジャガン氏がプロジェクトに関する資料一切の提出を拒否する。

グローバル補助金続行のためには、プロジェクトの中間報告が義務付けられているが、RC 内の内紛のため中間報告がポカラ RC から提出されない

事態となる。

2016年木更津東RCは再三にわたって中間報告書の提出をポカラRCに促すも、実行されず。

II. グローバル補助金の打ち切り

- ・ 2016年4月ロータリー財団よりポカラ RC 会長あてに「中間報告がなされないためグローバル補助金を取り消す決定をした」旨の通知がある。
注:このことで、ポカラ RC は一時、RI から除名された。
- ・ 財団から、最終報告書として提出するよう指示あり。
- ・ 木更津東 RC は、山田会員によりグローバル補助金の最終報告者素案を作成しポカラ RC 側と協議する。
- ・ 2016年10月両クラブ会長連盟で最終報告書をロータリー財団に提出。11月に財団の承認を得る。

III. 補助金の返還

- ・ グローバル補助の打ち切りにより補助金のうち銀行口座に残っている3,355,625ルピーと受取利息をロータリー財団に返却するよう、財団より支持がある。
- ・ (小屋等の建設の実績があり、かつ地元住民がプロジェクトに期待していることに鑑み、残金の返還にとどまった。)
- ・ ポカラ RC、3,376,860ルピーを財団に返還する。

IV. グローバル補助金返還後の動き

- ・ 2016年12月木更津東ロータリークラブ理事「今後、ヤギ銀行プロジェクトについてはポカラ RC との共同事業ではなく当クラブ独自に支援していくこと」を決定
- ・ 検討課題
グローバル補助金の一部返還に伴い、プロジェクト立ち上げ期の設備維持費や運営費が不足するため、プロジェクトが自立して運営できるまでの間(2016～2018年の2年間を想定)、木更津東クラブが替わって支援することで貧困家庭の教育費の確保という当初の目的を果たすことができるか。

V. 実施主体のNPOダンプスフレンドシップ協議会(DFO)との協議

- ・ 2017年3月DFO理事長ジャガン氏と協議
- ・ 3つの課題

① ヤギ飼育における課題が発生

寒冷湿潤の高地の気候が災いし、雨期に病気の発生によるヤギの死亡が多発した。また、これにより当初予定していなかった薬代や獣医師費用などの経費が発生している。同被害は今後も心配される。

② ダンプス村の社会経済環境の変化

- ・ 教育費への直接的な援助プログラム計画が進行している。
- ・ 大規模ホテル進出のための用地買収が進んでいる。
このため、ヤギ銀行プロジェクトへの地元の期待が小さくなってきている。

③ DFOの事業継続意欲の減退

- ・ グローバル補助金の打ち切りにより、従業員手当、えさ代などの経費はDFOの一部役員の個人的負担により賄われている状況であり、DFO側のプロジェクト継続意欲に陰りが見える。
- ・ 支援期間後の事業の継続可能性
以上のことから、「ヤギの繁殖・再生産によるNPOの経費の確保及び貸付家庭の収入確保」という事業スキームを2年間の支援期間の後にも継続することは困難という見通しがDFOから示され、ヤギ銀行プロジェクトへの当クラブの支援続行を断念することに両者合意した。

VI. 今後の国際奉仕プロジェクトにむけて

1. 奉仕活動を展開する地域について

- ・ 協力してくれる地域のロータリークラブがあるか。
- ・ 活動を支援、助言してくれる人が、その地域にいるか。
- ・ 現地調査、フォロー活動などに行きやすいところか

2. グローバル補助金を活用する場合は共同するロータリークラブを見極める必要がある

- ・ 組織がしっかりしているか
- ・ プロジェクトへの理解が十分か

- ・ 自らが主体であるという意識が十分か
 - ・ プロジェクトのスタートに当たって両クラブの交流必要
3. プロジェクトの内容について
- ・ 活動が持続可能であるか
 - ・ 地域の経済環境の変化に対応可能か
 - ・ 活動に専門的なアドバイスが得られるか
 - ・ 資金計画に無理はないか。
 - ・ 地域の人たちによって継続的な利用・運営ができるか。



◆点鐘 大里光夫会長 13時30分



【表紙の謎解き問題の解説と答え】

この問題は、数字を英語に変換して解きましょう。
数字が並んでいる「数」は、英語における「文字数」と一致します。

- ・ 「1」は「ONE」、「1」が3つ
- ・ 「2」は「TWO」、「2」が3つ
- ・ 「3」は「THREE」、「3」が5つ
- ・ 「4」は「FOUR」→「4」が4つ
- ・ 「5」は「FIVE」→「5」が4つ

「？」の部分には「6」を変換した結果が入ることとなります。

「6」→「SIX」となるため、「666」が正解となります。

謎解き練習問題.com 参照

木更津東ロータリークラブ事務局メールアドレス eastkisarazu-rc@nifty.com